

2026（令和8）年度の施策の展開

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえた確かな学力の育成を図るとともに、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である乳幼児期の教育など、子どもたちが多様な人々と協働して力強く生きていくための基礎となる力を育みます。

また、豊かな心を育むため、人権教育を推進するとともに、体力の向上などにより、健やかな体を育成します。

施策

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実
- ② 読書活動の推進
- ③ 学校における人権教育の推進
- ④ 体力向上の推進
- ⑤ 学校保健、学校給食・食育の充実
- ⑥ 乳幼児期における教育及び保育の充実
- ⑦ キャリア教育・進路指導の充実

※ 施策ごとに2026（令和8）年度の取組方針、主な取組、取組の進捗、参考について記載しています。

※ 【主な取組】の見方

▶ 主な取組を取組主体別に記載しています。

■：山口県教育振興基本計画に示す主な取組

○：主な取組の柱

・：具体的な取組内容

新：2026（令和8）年度の新規事業関連の取組

新：2026（令和8）年度の予算計上を伴わない新たな取組

拡：2026（令和8）年度の拡充する取組

▶ 予算の欄には、関連資料（令和8年度教育委員会当初予算の概要）のページ数を記載しています。

▶ 参考に説明資料等を掲載している取組や資料名には下線を引いています。

注 各施策の**参考**に記載している＜国参考資料＞及び＜県参考資料＞には、その他の関連資料、閲覧するためのURLや二次元コードを示しています。情報の更新等によりアクセスできなくなる可能性があります。

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実

【2026（令和8）年度の実施方針】

- ◆ 「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤として、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の3つの方針のもと、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた体制づくりと授業改善を推進します。
- ◆ 「デジタルの力でリアルな学びを支える」という考え方に立ち、学習の基盤的なツールとしてICTを利活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、誰一人取り残されることなく「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための取組を推進します。
- ◆ 確かな学力の育成に向け、地域社会や大学等と連携しつつ、現代社会の諸課題について探究し、他者と協働して課題解決に取り組む機会や、学校・学年の枠を越えて、高校生が切磋琢磨して学び合う機会を創出します。

【主な取組】（担当課：義務教育課／高校教育課／教育情報化推進室／特別支援教育推進室）

主な取組と内容	主な取組主体	予算
<p>■ 「組織力」「授業力」「連携力」による確かな学力の定着と向上</p>		
<p>○ 児童生徒一人ひとりに対応したきめ細かな学習指導の充実</p>		
<p>新 「生成AI搭載やまぐちCBTによる学力向上支援事業」の推進（小・中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生成AIを活用した家庭と学校の学びの循環を促進（中） ・ 小学校専科加配教員の配置 	<p>県教委 市町教委</p>	<p>P127 P128 P148</p>
<p>・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための取組①④</p> <p>新 「やまぐちっ子学習プリントCBT」を加えた「やまぐち学習支援プログラム」等を効果的に活用した組織的な学習支援ときめ細かな学習指導体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「生成AI・学習アシスタントアプリ」の活用（中・特） ・ 生成AIの利活用（高・特） 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	<p>P127 P128 P135</p>
<p>○ 組織的・継続的な授業改善の取組の推進</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県・市町教育委員会の学校訪問等による各学校の課題解決に向けた支援 ・ 教職員自身が探究的に学ぶ意欲やキャリアステージに応じた研修の実施 	<p>県教委 市町教委</p>	<p>P135 P148</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校・地域連携カリキュラム」を軸とした、教科等横断的な視点からの教育課程編成など、カリキュラム・マネジメントの推進③（小・中） ・ 全国学力・学習状況調査と山口県学力定着状況確認問題（CBT）を活用した全校体制での年間2回の検証改善サイクルの推進（小・中） ・ 誤答分析に基づいた課題の焦点化や課題解決に向けた組織的・継続的な授業改善（小・中） ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした組織的・計画的なPDCAサイクルによる授業改善④ 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	<p>P135 P148</p>

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

○ 指導と評価の一体化を図る取組の推進			
<ul style="list-style-type: none"> 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して、めざす子どもの姿から考える授業改善の取組の推進 	<p>県教委 市町教委</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 学習評価の手引き等を活用した指導と評価の一体化の工夫・改善⑤ 「振り返り」に関する研修資料等を活用した校内研修の実施 (小・中) 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>		
○ 質の高い探究的な学びの実現			
<ul style="list-style-type: none"> 「子どもの新たな学び」の実現に資する学校マネジメント力の強化推進② (小・中) 	<p>県教委 市町教委</p>	P135	
<ul style="list-style-type: none"> 小学校・中学校・高等学校等が連携・協働した探究的な活動の推進 やまぐち総合教育支援センター作成の教育プログラムや探究研修モジュールを活用した探究的な学びの質の向上 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>		
○ 学校・家庭・地域の連携力の強化			
<ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域が一体となって取り組むカリキュラム・マネジメントの促進③ 地域の人が授業づくりに関わるユニット型研修の促進 (小・中) 	<p>県教委 市町教委</p>		
<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かした家庭・地域との連携・協働や学校間連携の充実 学力課題や地域課題等の解決に向けた地域の教育資源を活用した教育活動の充実 接続する学校や、幼児教育・保育施設等との連携による、発達の段階に応じた指導方法の工夫改善 児童生徒参画型の「学力に関する熟議」の実施 (小・中) 高大連携や地域の人材を活用した取組の充実 (高) 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>		
■ PDCAサイクルによる授業改善			
<ul style="list-style-type: none"> 「全国学力・学習状況調査」と「山口県学力定着状況確認問題」を活用した全校体制による年間2回の検証改善サイクルの徹底 <ul style="list-style-type: none"> 各種学力調査等のCBT化によるスピード感ある情報提供と全県の学力課題の共有 県・市町教育委員会の学校訪問等による各学校の課題解決に向けた支援 	<p>県教委 市町教委</p>	P135 P148	
■ 学習の基盤的なツールとしてのICT利活用			
○ ICT活用指導力と授業力の向上			
<ul style="list-style-type: none"> ICTの強みを生かし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための研修会の実施 1人1台タブレット端末の活用事例集の周知及び好事例の展開⑩ 	<p>県教委 市町教委</p>		
<ul style="list-style-type: none"> クラウドの強みを生かした教育活動の実施 生成AIの利活用 (高・特) デジタル教科書の活用 (小・中・特) 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>		

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

<p>■ 主体的に社会の形成に参画する態度の育成</p>		
<p>○ 地域の関係機関や人材等を活用した主権者教育の推進⑥</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 高校生県議会への参加促進（高） 主権者教育に関する教員研修の実施 	<p>県教委</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 県選挙管理委員会及び市町選挙管理委員会等が実施する出前授業の積極的活用 県議会や市町議会が実施する議会訪問見学及び模擬議会への参加 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>○ 地域の関係機関と連携した消費者教育の推進</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 消費者教育に関する教員研修の実施 山口県消費生活センター等が実施・提供する出前授業・教材の活用促進 	<p>県教委 市町教委</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 家庭科の消費生活に関する内容を第2学年までに履修（高） 消費者教育関係省庁作成の教材等を活用した授業の実施 消費生活相談員や弁護士等の実務経験者等による出前授業の実施 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>○ 学習指導要領に基づいた教科等横断的な環境教育の推進⑦</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 「やまぐちエコリーダースクール認証制度⑧」を活用した環境教育の促進 「環境教育推進計画」に基づく取組の推進 	<p>県教委</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムを取り入れた取組の実施 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>○ SDGsの趣旨を踏まえた持続可能な開発のための教育（ESD）の推進</p>		
<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルをテーマとした企業等との連携による課題解決型学習の展開（高） 	<p>県教委</p>	
<p>■ 高校生が切磋琢磨して学び合う機会の創出</p>		
<p>○ 地域医療の諸課題の解決等について探究するセミナーの開催</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 医師を志す高校生が地域医療の課題等について学び合うセミナーの開催 	<p>県教委</p>	
<p>○ 全県合同のハイレベル課外授業等の実施</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 選抜性の高い大学や医学部への進学をめざす高校生が学び合う課外授業の実施及び、1人1台タブレット端末を活用した課外授業の配信 東京大学先端科学技術研究センター等と連携した最新の研究を学ぶ生徒・教員向けの講座を実施 複数校へ同時配信することで、学校・学科の枠を越えた学びの場を提供 	<p>県教委</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の資格取得に向けたオンライン講座の活用⑨ 	<p>学校 (高・特)</p>	

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

取組の進捗

p-d-Check-a

主な指標		基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
「全国学力・学習状況調査」の全国平均との差(公立小・中学校)	小国 小算	※67% (67.2%) 61% (62.5%) (2023(令和5)年度)	※68% (66.8%) 58% (58.0%) (2025(令和7)年度)	全国平均を3ポイント上回る
	中国 中数	※70% (69.8%) 52% (51.0%) (2023(令和5)年度)	※55% (54.3%) 48% (48.3%) (2025(令和7)年度)	全国平均を3ポイント上回る
勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合(公立小・中学校)		小 61.6% 中 62.6% (2023(令和5)年度)	小 57.6% 中 57.2% (2025(令和7)年度)	80.0%
コンピュータなどのICT機器を学級の友達と意見交換する場面で週3回以上使用する児童生徒の割合(公立小・中学校)		小5 49.7% 小6 54.6% 中1 43.7% 中2 51.0% (2022(令和4)年度)	小5 49.6% 小6 57.1% 中1 48.5% 中2 56.8% (2025(令和7)年度)	70.0%
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合(公立小・中学校)		小 78.4% 中 82.4% (2023(令和5)年度)	小 78.8% 中 79.1% (2025(令和7)年度)	90.0%
学校の枠を越えて高校生が学び合う活動に取り組んだ学校の割合(県立高等学校等)		75.0% (2022(令和4)年度)	85.4% (2024(令和6)年度)	100%
地域の関係機関や人材等を活用した主権者教育又は消費者教育を行っている学校の割合(県立高等学校等)		79.2% (2022(令和4)年度)	91.7% (2024(令和6)年度)	100%

※都道府県等における各区分の平均正答率は整数値、()内は全国値。

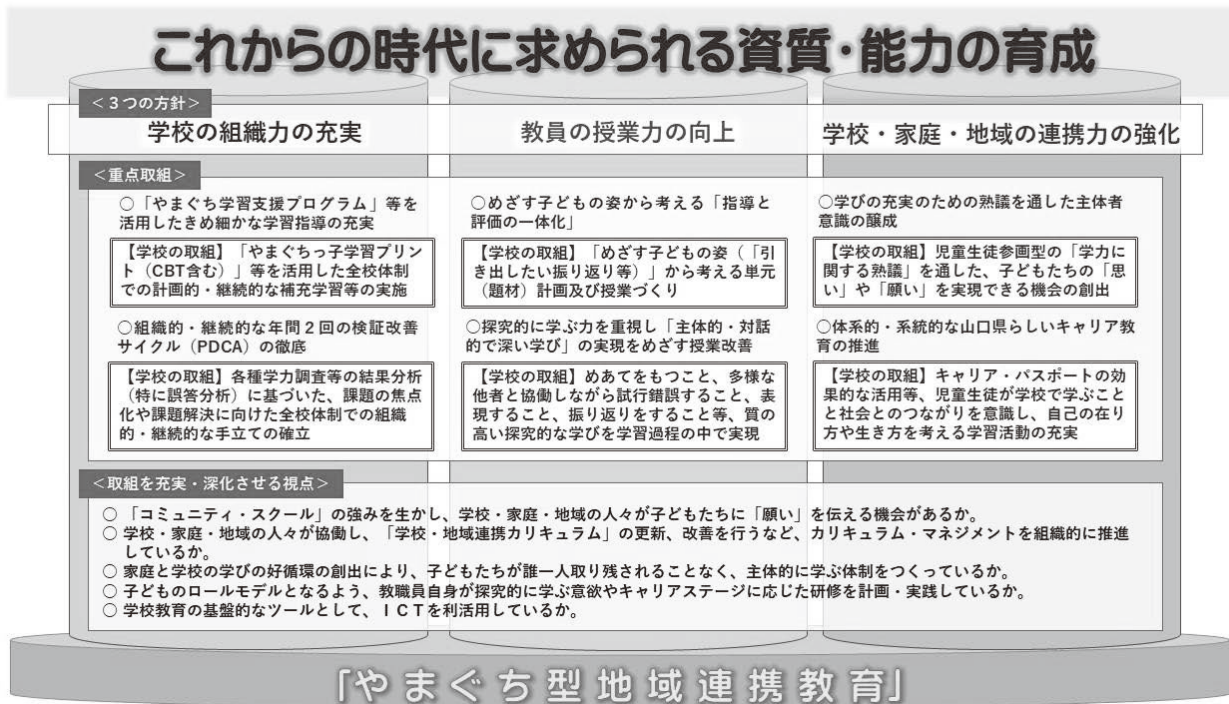
1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

参考

① 「組織力」「授業力」「連携力」による確かな学力の定着と向上 (担当：義務教育課／高校教育課)

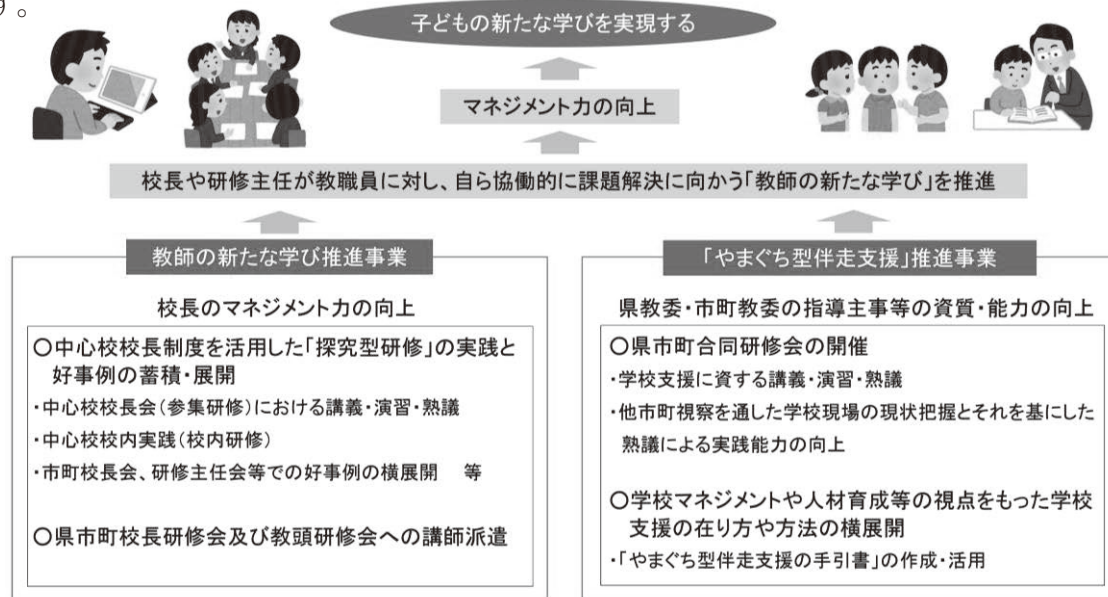
小・中学校における取組

「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とし、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の3つの方針の下、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、「ふるさと山口の創り手」となる子どもたちがこれからの時代に求められる資質・能力を身に付けることができる体制づくりと授業改善を推進します。



② 「子どもの新たな学び」の実現に資する学校マネジメント力の強化推進

子どもが新たな時代に社会で活躍するために必要な力を身に付けることをめざし、校長等のマネジメント力の強化により、教員同士が学び合う環境を構築し、子どもの新たな学びを実現します。



<県参考資料>

義務教育課「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会からの提言」
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26905.html>



③義務教育課「社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラム・マネジメント
 (カリキュラム・マネジメントの手引き 理論編/実践編)」
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26827.html>



⑩義務教育課「ICT活用指導力の向上に向けて
 (やまぐちっ子ICT活用事例集 Vol.01~03)」
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26854.html>



⑤義務教育課「各教科における「指導と評価の一体化」のための学習評価のポイント」
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26897.html>

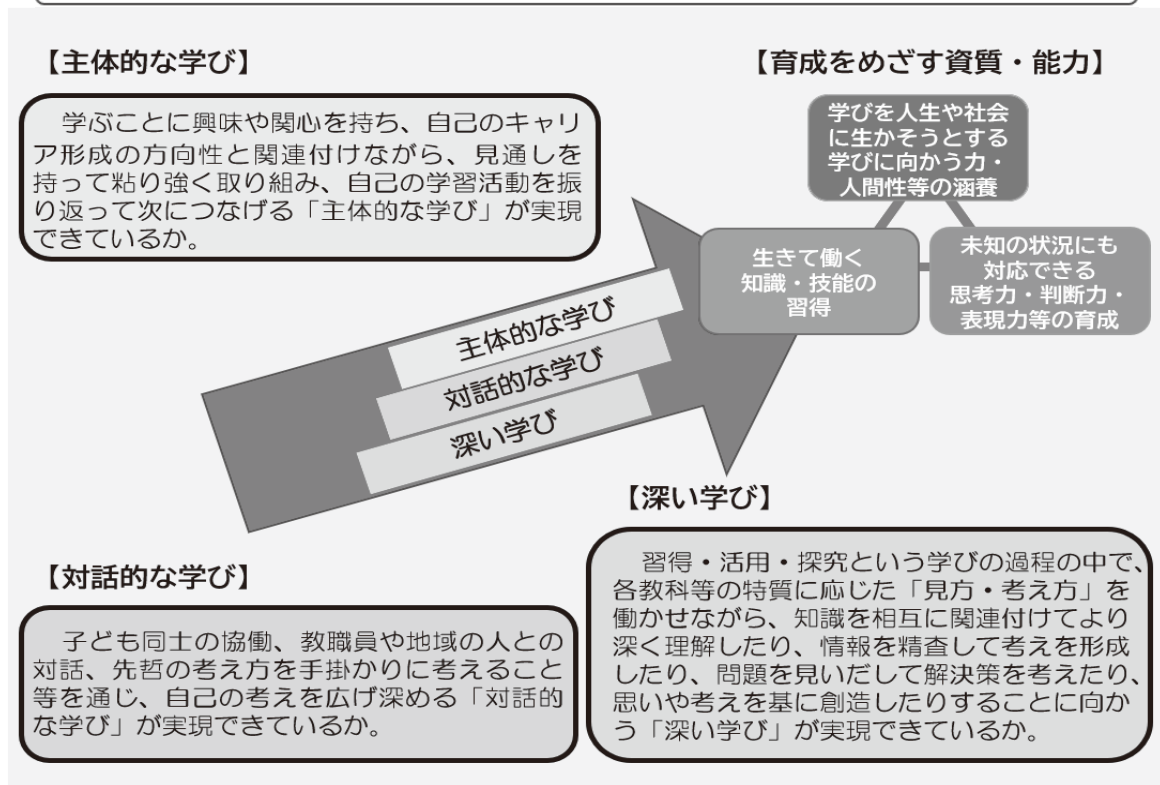


高等学校等における取組

④「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにすることが求められています。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点



1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

⑤ 指導と評価の一体化に向けて

生徒に必要な資質・能力を効果的に育成するためには、教科等の目標及び内容と学習評価とを一体的に検討することが重要であり、授業の改善と評価の改善を両輪として行っていくこと（指導と評価の一体化）が求められています。

「指導と評価の一体化」における学習評価の視点

教師が指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにすることが「指導と評価の一体化」です。



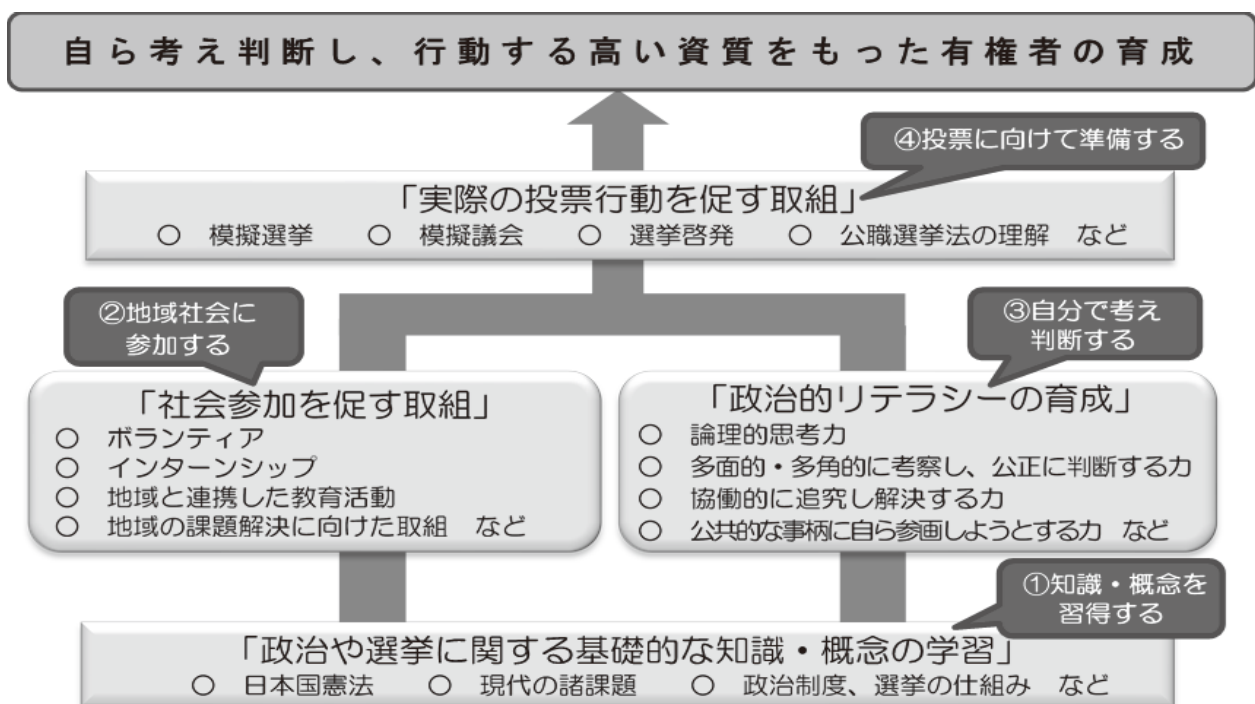
<県参考資料>

高校教育課「高等学校における学習評価の手引き
～「指導と評価の一体化」の推進に向けて～」(R3)
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/180/26430.html>



⑥ 主権者教育の推進 (担当：高校教育課／義務教育課／学校安全・体育課／教職員課)

①知識・概念を習得する、②地域社会に参加する、③自分で考え判断する、そして④投票に向けて準備する、の4つの視点から、主権者教育を「積極的に」「効果的に」「公正に」推進し、自ら考え判断し、行動する高い資質をもった有権者を育成します。



⑦環境教育の推進

(担当：高校教育課／義務教育課)

各教科の学習内容と関連付けて教科等横断的に取り組むとともに、学校行事や児童生徒会活動との関連性を図ります。

【やまぐちエコリーダースクールとは】

環境教育に関する活動に環境マネジメントシステム（P D C Aサイクル）の手法を取り入れた取組を行い、県教委が「やまぐちエコリーダースクール」と認証した学校です。



<県参考資料>

⑧高校教育課「エコリーダースクール・トップページ」
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/180/257226.html>



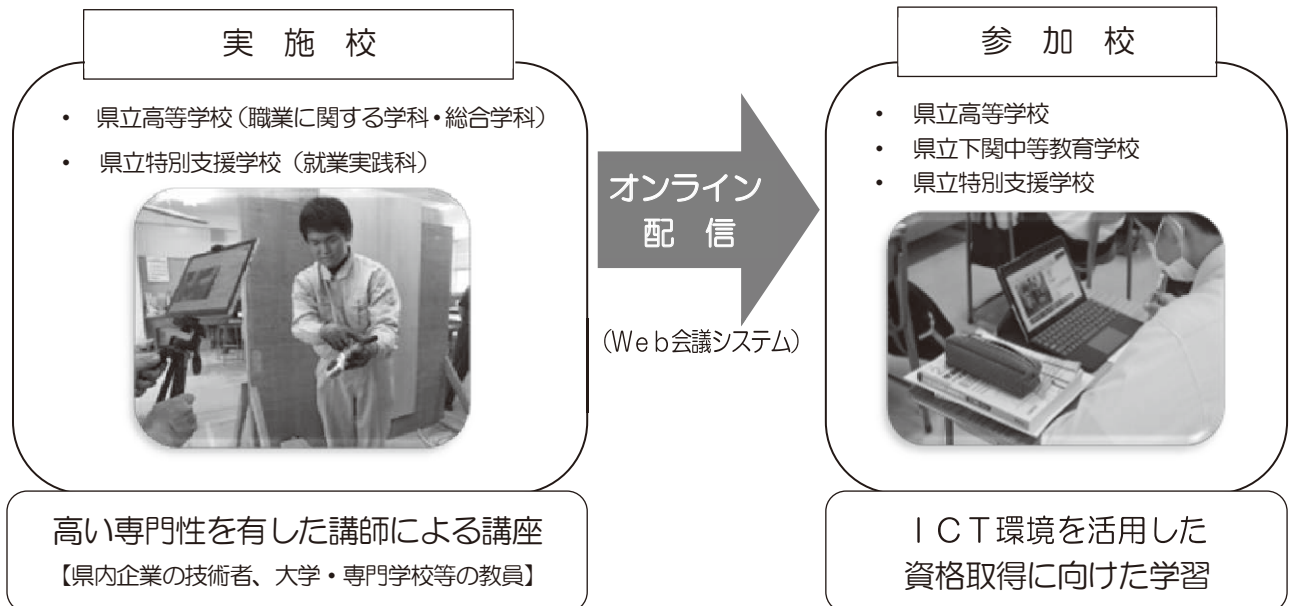
⑨高校生が切磋琢磨して学び合う機会の創出

(担当：高校教育課)

I C T環境を活用した資格取得の促進

1人1台タブレット端末を活用したオンライン講座を実施し、学校・学科の枠を越えた学びの場や機会を創出します。

■ オンラインによる講座配信



1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

② 読書活動の推進

【2026（令和8）年度の取組方針】

- ◆ 読書が好きと感じている児童生徒の割合を増やすため、本や活字に親しむ機会を提供するとともに、読書の習慣化に向けた取組を充実し、その取組を広く県民に周知します。
- ◆ 研修や講座等を通して、子どもと本をつなぐ人材の育成や、資料・情報の提供を推進する「山口県子ども読書支援センター」の取組を促進します。
- ◆ 県立図書館や学校図書館の図書資料の充実を図り、多様な子どもたちが読書活動に親しむことができる読書環境の整備を促進します。

【主な取組】（担当課：地域連携教育推進課／義務教育課／高校教育課／特別支援教育推進室／乳幼児の育ちと学び支援センター）

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ 本や活字に親しむ読書活動の推進		
○ 読み聞かせや読書会、ブックトーク等、本に親しむ機会の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書の時間などの全校体制による読書活動の実施 	学校 (小・中・特)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書ボランティアと連携した読み聞かせやブックトーク等の実施 	幼保等 学校 (小・中・特)	
○ 児童生徒が主体となった読書イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦図書の紹介や図書の展示の工夫等、委員会活動の活性化 ・ 「ライぶらり*1」「読書会」「ビブリオバトル」等の取組の実施 	学校 (小・中・高)	
○ 県立図書館における子どもの読書イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おはなし会」の開催 ・ 「こどもの読書週間」や夏休み等における子ども向け行事の開催 	県教委	
○ 家庭・地域と連携した読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 読書ボランティアと連携した「おはなし会」等、子ども向け行事の開催 	県教委 市町教委	
■ 山口県子ども読書支援センターによる取組		
○ 「ライぶらり」の普及・充実による読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館と出会う読書活動「ライぶらり」の推進 	県教委	P148
○ メールマガジン配信や優れた取組の紹介による情報提供の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ メールマガジン「本はともだち」の配信 ・ ホームページやSNSを活用した情報発信 	県教委	P148
○ 学校等と連携した本や活字に親しむ機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子どもと本をつなぐスキルアップ講座」の開催 ・ 「学校図書館セミナー」の開催 ・ 「幼稚園・保育園のための子ども読書研修会」の開催 ・ 「新刊児童書閲覧会」の開催 ・ 「出前こどもとしょかん」の実施（小・中・特別支援学校対象） ・ 「読書講演会」の実施（高等学校対象） ・ 学校や読書ボランティア団体等への「団体貸出」の実施 ・ 講師の派遣や学校図書館運営に係る相談対応 	県教委	P148

■ 読書活動の推進に向けた環境の整備		
○ 第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」※ ² に基づいた図書資料の整備の促進	・ 子どもの読書活動関連資料の整備・充実	県教委 市町教委
	・ 第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づく図書や新聞の整備や充実	学校 (小・中・高・特)
	・ 様々な興味・関心に応じた魅力的な学校図書館資料の整備・充実	
○ デジタル端末で本や活字に親しむことができる環境の整備	・ 県立図書館電子図書館サービスの活用促進	県教委
○ 司書教諭や学校司書の配置促進及び資質向上研修の充実	・ 司書教諭配置の促進及び司書教諭等研修会における司書教諭と学校司書の役割等に関する研修の充実	県教委 市町教委
■ 視覚障害者等の読書環境の整備		
○ アクセシブルな書籍※ ³ 等の充実及び利用に向けたサービスの周知	・ マルチメディアデージー※ ⁴ 図書等の資料収集や利用に関する情報の発信	県教委 市町教委

- ※1 ライぶらり：学校図書館の蔵書を活用した図書館探検の手法。児童・生徒の主体的・対話的な読書活動を推進するため、平成30年度に山口県子ども読書支援センターにおいて考案
- ※2 第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」：令和4年度から令和8年度までを対象期間とする公立小中学校等の学校図書館における、学校図書館図書標準の達成、計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備、学校司書の配置拡充が図られることを目的に策定
- ※3 アクセシブルな書籍：「読書バリアフリー法」第2条第2項の「視覚障害者等が利用しやすい書籍」で、点字図書、拡大図書、録音図書、さわる絵本、布の絵本等、視覚障害者等が、その内容を容易に認識することができる書籍や電子書籍
- ※4 マルチメディアデージー：視覚障害や学習障害などで読むことが困難な方のための、パソコン等により文字・音声・画像を同時に再生できる図書（マルチメディアデージー図書）の国際規格（「デージー（DAISY）」はDigital Accessible Information System（誰もが使いやすい情報システム）の略）

取組の進捗

p-d-Checka

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
読書が好きと感じている児童生徒の割合 (公立小・中学校)	小 72.6% 中 68.1% (2022(令和4)年度)	小 65.3% 中 62.6% (2024(令和6)年度)	小 80.0% 中 75.0%
学校以外で、月に1冊も本(漫画本を除く)を 読まない児童生徒の割合	小 29.4% 中 35.6% (2022(令和4)年度)	小 32.3% 中 38.4% (2025(令和7)年度)	小 25.0% 中 30.0%
県立図書館における児童書貸出冊数	110,478冊 (2022(令和4)年度)	89,920冊 (2024(令和6)年度)	120,000冊
県立図書館の電子図書館サービス閲覧数	12,268件 (2022(令和4)年度)	12,464件 (2024(令和6)年度)	15,000件

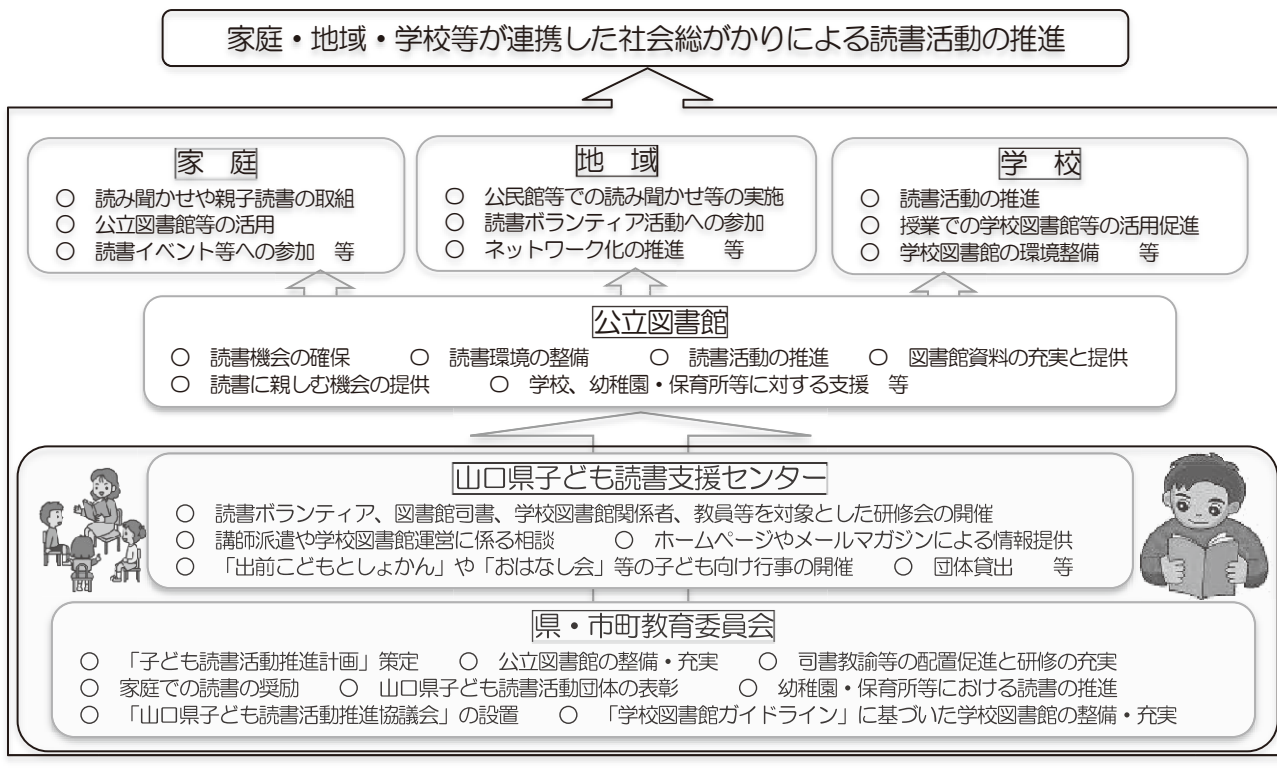
1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

参考

家庭・地域・学校等が連携した社会総がかりによる読書活動の推進

(担当：地域連携教育推進課)

全ての子どもたちが、生涯にわたる読書習慣を身に付けられるよう家庭、地域、学校、公立図書館等が連携・協働し、社会全体で子どもの主体的な読書活動を推進します。



<国参考資料>

文部科学省 第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(R5.3 閣議決定)
https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/mext_00072.html



<県参考資料>

地域連携教育推進課「山口県子ども読書活動推進計画第5次計画(概要・全文)」(R6.3 策定)
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/183/125453.html>



③ 学校における人権教育の推進

【2026（令和8）年度取組方針】

- ◆ 「山口県人権推進指針^①」及び「山口県人権教育推進資料^②」に基づいて、児童生徒の心身の成長の過程に即し、教育活動を通して人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にす
る教育を組織的・計画的に推進します。
- ◆ 児童生徒の自主性と実践への意欲の高まりをめざし、人と人との関わりの中で主体的な
学びが行われるよう、人権尊重の視点に立った指導の充実を図ります。

【主な取組】

(担当課：人権教育課)

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ 人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にす る教育の推進		
<p>○ 人権が尊重された学校づくりの充実^③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づいた、互いの人格を尊重した態度や言動を育む指導の展開 ・ 人権に関する児童生徒作品（ポスター）の募集及び入賞作品を活用した広報の充実 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	<p>P148</p>
<p>○ 主体性を育み、課題解決力等を高める授業実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な人権課題に対する理解を深め主体的に解決しようとする資質能力の涵養を目的とした、教科等で活用できる指導資料の作成及び活用方法の提示 ・ 教育DXの進展を背景とした児童生徒によるタブレット端末等を介した様々な人権侵害の未然防止に向けた取組の紹介 		
■ 教職員研修の充実		
<p>○ 人権が尊重された学校づくりや指導方法に関する研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の人権意識の向上を目的とした「人権尊重の視点に立った教育活動の振り返りシート」の活用促進 ・ 学校、家庭、地域社会の連携・協働体制による「人権が尊重された学校づくり」の取組に関する、「News letter」や「ふれあい夢通信」等を活用した情報発信 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	<p>P148</p>
<p>○ 研修機会の充実に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な人権課題に対応できる研修内容の充実及びサテライト研修の活用促進 ・ 人権教育担当者研究協議会（県内7ブロック）の充実に向けた、担当校との情報交換及び講師経費の支援（高・特） 		
■ 人権に関する資料の整備と活用の促進		
<p>○ 基本的人権に関する理解を深めるための資料の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科等で活用できる指導資料の作成、整備及びウェブページによる情報提供 ・ 様々な人権課題に関する法律や施策等についての情報提供 	<p>県教委 市町教委</p>	<p>P148</p>
<p>○ 視聴覚資料等の整備と活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校種の特性に応じた視聴覚資料の整備とニーズについての調査検証 ・ 視聴覚資料を活用した効果的な学習活動に関する研修会の実施 		<p>P154</p>

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

取組の進捗

p-d-Check-a

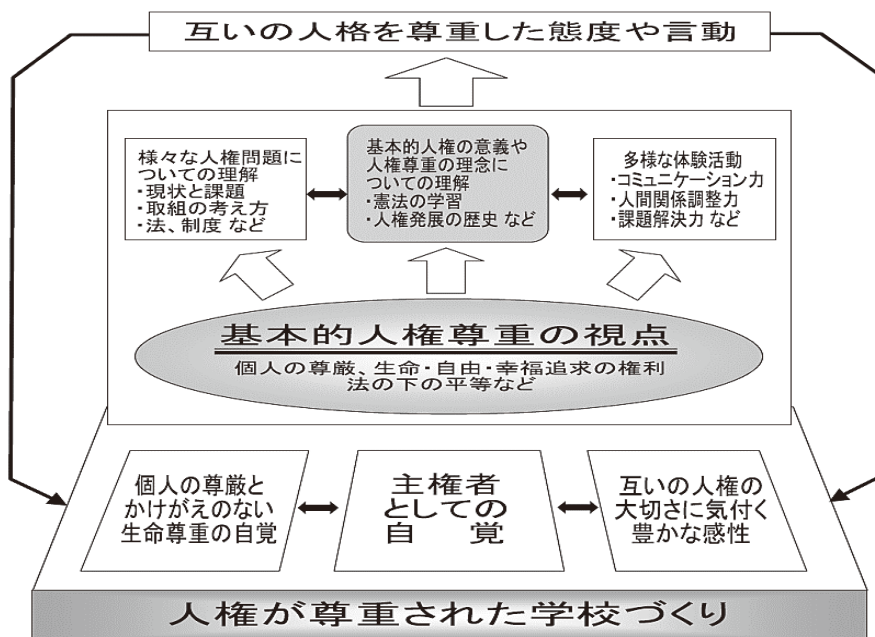
主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
人権教育に関するサテライト研修等への 県教委からの講師派遣回数	223 回 (5 年間・44.6 回/年) (2018(平成30)年度 ～2022(令和4)年度)	93 回 (2 年間・46.5 回/年) (2023(令和5)年度 ～2024(令和6)年度)	250 回 (5 年間・50 回/年)
人権に関する視聴覚資料の貸出状況	724 本 (5 年間・144.8 本/年) (2018(平成30)年度 ～2022(令和4)年度)	286 本 (2 年間・143 本/年) (2023(令和5)年度 ～2024(令和6)年度)	750 本 (5 年間・150 本/年)

参考

③人権が尊重された学校づくりの充実

(担当：人権教育課)

人権教育の推進にあたっては、教育内容、指導方法とともに、学習の場そのものが、児童生徒にとって、安心して、楽しく学ぶことのできる環境でなければなりません。そのため、互いを尊重した人間関係や人権が尊重された学習環境などが、人権教育の重要な基盤となります。



基本的人権尊重の視点に立った取組の中で、個人の尊重、生命・自由・幸福追求の権利の尊重、法の下での平等など、〈基本的人権に関わる学び〉として、基本的人権の意義や人権尊重の理念の正しい理解と人権の大切さに気付く豊かな感性などの育成をめざします。

- * 意義…意味・価値
- * 理念…基本的な考え方

<国参考資料>

法務省「人権教育・啓発に関する基本計画（第二次）」
<https://www.moj.go.jp/JINKEN/JINKEN83/jinken83.html>



<県参考資料>

①人権対策室「山口県人権推進指針」（H14.3策定、H24.3改定、R6.12改定）
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/36/14902.html>



②人権教育課「山口県人権教育推進資料」（H24.3作成、R7.3改定）
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/291558.html>



④ 体力向上の推進

【2026(令和8)年度の取組方針】

- ◆ 学校、市町教育委員会、県教育委員会が一体となって、バランスのとれた体力向上をめざす、「体力向上維新プロジェクト」を推進します。
- ◆ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、関係団体等と連携した組織的な取組の推進を図ります。
- ◆ 教員の指導力向上に向けた各種研修会等への参加促進や、体育授業マイスターやアスリート等の積極的な活用により、学校体育の充実を図ります。
- ◆ コミュニティ・スクール等との連携を促進し、家庭や地域、学校が一体となった運動習慣づくりの取組の推進を図ります。

【主な取組】

(担当課：学校安全・体育課)

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ 「体力向上維新プロジェクト」の推進		
○ 体力向上に向けた全小・中学校の共通の取組の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備運動、おうちで運動^{*1}の充実 ・ 正しい測定方法や動作のポイント等についての研修会の実施、実施時期の統一（5～7月）、体力確認テスト（対象：小4・中1、11～12月）の実施による新体力テストの充実 	県教委 市町教委 学校(小・中)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導資料「柔軟性向上運動メニュー 改訂版」「柔軟性向上運動メニュー動きのポイント」「(新体力テスト動画資料) 児童生徒の力を発揮させるために」「体力アップのための準備運動例」「レノファ山口運動プログラム集」等の活用 	学校 (小・中・高・特)	
○ 各学校の課題に応じた、特色ある取組の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新体力テスト等の調査結果に基づく検証改善サイクルを活用した体力課題の把握と課題解決に向けた取組の見直し及び改善 	県教委 市町教委 学校(小・中)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の課題に合わせた取組(学校オリジナル活動)の充実 新 運動時間の確保や運動への興味を引き出す校内環境の工夫・充実 	学校(小・中)	
■ 体力向上に向けた組織的な取組の推進		
○ 関係団体等と連携した取組の検証、改善		
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ医・科学の知見を有する専門家や関係機関の代表者等による「体力アップチャレンジ協議会」の開催 	県教委	P149
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「体力向上レポート^{*2}」の効果的な活用による、各市町教委・学校における好事例を展開 	県教委 市町教委 学校(小・中)	
■ 指導方法の工夫改善による学校体育の充実		
○ 体育・保健体育科授業の改善と充実に向けた教員の指導力向上		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校体育セミナーや実技講習会等の開催 新 体育授業マイスターの育成・資質向上に向けた連絡会議や研修会等の開催 	県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)	P149
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育授業マイスター制度^{*3}の活用 	学校(小)	P149
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業におけるICTの効果的な活用事例の収集、周知 ・ ICTの活用を充実させていくための研修等の実施 	県教委 学校 (小・中・高)	P149

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

○ 関係団体等と連携した学校体育活動の充実			
<ul style="list-style-type: none"> 学校の課題に応じた地域スポーツ指導者の派遣とその活用 プロスポーツチームと連携した新体力テストや運動・健康教室、出前教室の実施 	県教委 市町教委 学校 (小・中・高)	P149	
<ul style="list-style-type: none"> 学校体育活動や家庭等で実践できる運動動画等の活用 	学校 (小・中・高・特)		
<ul style="list-style-type: none"> アスリート派遣による体育授業等の充実 	学校 (小・中・高・特)		
■ 家庭や地域、学校が一体となった運動習慣づくりのための取組の充実			
○ 家庭と連携した取組の推進			
<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用した本県の体力、運動習慣等の状況や運動の重要性に関する情報提供、家庭でできる運動メニューの紹介 出前授業による運動教室や講義を通じた、啓発活動の充実 	県教委	P149	
<ul style="list-style-type: none"> 指導資料「子どもに経験させたい運動・遊び」「チャレンジやまぐち②」等を活用した取組の推進 	学校(小・中)		
○ 地域との連携による運動・遊び等の活動機会の確保			
<ul style="list-style-type: none"> 「地域協育ネット」の仕組みを生かした運動・遊び等の機会の確保 	県教委 市町教委 学校(小・中)		
<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会等を活用し、地域と連携・協働した体育活動の実施 	学校(小・中)		

※1 おうちで運動：子どもが、毎日、家庭で、発達の段階に応じた運動を行う取組

※2 体力向上レポート：各学校の体力向上に向けた取組や成果を記載したもの

※3 体育授業マイスター制度：小学校体育科授業において高い指導力を有する教員を「体育授業マイスター」に任命し、学校に派遣する制度

取組の進捗

p-d-Check-a

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における、体力合計点の県平均点(公立小・中学校) ※ () 内は全国平均値	小5男子 50.5点 (52.3点)	小5男子 53.0点 (53.0点)	全国平均値を超える
	小5女子 52.9点 (54.3点)	小5女子 54.3点 (54.0点)	
	中2男子 39.8点 (40.9点)	中2男子 42.3点 (42.1点)	
	中2女子 47.2点 (47.3点)	中2女子 48.2点 (47.5点)	
	(2022(令和4)年度)	(2025(令和7)年度)	
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における、1週間の総運動時間が420分以上の児童生徒の割合(公立小・中学校)	小5男子 54.1%	小5男子 50.2%	山口県平均値 (2019(令和元)年度)
	小5女子 33.1%	小5女子 29.3%	小5男子 56.4%
	中2男子 84.2%	中2男子 74.1%	小5女子 36.9%
	中2女子 62.5%	中2女子 52.0%	中2男子 87.6%
	(2022(令和4)年度)	(2025(令和7)年度)	中2女子 67.7%

参考

体力向上の取組推進に向けて

(担当：学校安全・体育課)

体力は、人間のあらゆる活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっており、「生きる力」を支える重要な要素です。本県では、学校、市町教育委員会、県教育委員会が一体となって、バランスの取れた体力向上をめざす、「体力向上維新プロジェクト」を推進し、心身ともに健康で、未来をたくましく生き抜く力を育成します。

心身ともに健康で、未来をたくましく生き抜く力の育成

体力向上

運動習慣の定着

運動好きな児童生徒の育成

体育を学ぶ
意義や価値

運動・スポーツ
の楽しさ

多様な
運動経験

体力向上維新プロジェクト

・全小・中学校による共通取組の推進 ・各校の課題に応じた特色ある取組の推進

指導方法の工夫改善による学校体育の充実

体力向上に向けた組織的な取組の推進

家庭や地域、学校が一体となった取組の推進

- 授業改善（研修の充実）
- 体育授業マスターの活用
- ICTの効果的な活用の推進
- 地域スポーツ指導者の活用
- 運動動画等の活用
- 地元アスリート・企業等との連携

- 準備運動、おうちで運動、新体力テストの充実
- 学校オリジナル活動の充実
- 「体力アップチャレンジ協議会」の開催
- 体力向上レポートの効果的な活用
- 校内環境の工夫・充実

- 出前授業の充実
- 指導資料の活用
- 「地域協育ネット」の仕組みを生かした運動・遊び等の機会確保
- Webページを活用した、家庭でできる運動メニューの提供

<県参考資料>

①学校安全・体育課 「体力向上維新プロジェクト」(R5.2～)

<https://sites.google.com/g/ysn21.jp/tairyoku-up-ishin/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

- ・ 指導資料「柔軟性向上運動メニュー動きのポイント」
- ・ 指導資料「体力アップのための準備運動例」
- ・ 新体力テスト実施に向けた研修資料「児童生徒の力を発揮させるために」
- ・ 「子どもに経験させたい運動・遊び」 等



②学校安全・体育課 チャレンジやまぐち・「チャレンジやまぐち」運動遊びプログラム

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26663.html>

- ・ 子どもの体力について
- ・ 「バランス」運動遊びプログラム
- ・ 「体の移動」運動遊びプログラム 等



1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

⑤ 学校保健、学校給食・食育の充実

【2026(令和8)年度取組方針】

- ◆ 子どもたちが生涯を通じて心身の健康を保持増進するために、望ましい生活習慣や食習慣を身に付けることができるよう、学校・家庭・地域の連携による組織的・計画的な学校保健・食育の推進を図ります。
- ◆ 現代的な健康課題の解決に向け、学校保健委員会の活性化や、学校医・学校歯科医・学校薬剤師及び医療機関等との連携体制の一層の充実を図ります。
- ◆ 「生きた教材」である学校給食を活用した食に関する指導の充実を図るとともに、安全・安心な学校給食を提供するため、衛生管理・危機管理の徹底を図ります。
- ◆ 学校保健及び食育・給食管理に関する研修会等の充実により、養護教諭や栄養教諭等の更なる資質能力の向上を図ります。

【主な取組】

(担当課室：学校安全・体育課／学校運営・施設整備室)

主な取組と内容	主な取組主体	予算
<p>■ 望ましい生活習慣・食習慣の定着に向けた学校・家庭・地域の連携による組織的・計画的な学校保健・食育の推進</p>		
<p>○ 児童生徒の実態を踏まえた「学校保健計画」及び「食に関する指導の全体計画」の見直し・改善の推進</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の実態を踏まえた計画等の毎年度の見直し・改善の推進 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康課題の解決に向けた学校保健委員会の計画的開催(年2回以上) ・ オンラインの活用等による学校保健委員会の開催回数や参加率の向上 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>○ 養護教諭・栄養教諭等を中心とした学校全体で取り組む推進体制の充実</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育活動全体を通じてチーム学校で取り組む学校保健・食育のP D C Aサイクルの確立 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>☑ 養護教諭・栄養教諭等の連携による組織的な個別指導の促進・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県教委や文部科学省、日本学校保健会、日本スポーツ振興センターが作成している資料等を活用した校内研修の実施 ・ 学校保健研究大会等における健康教育の実践事例の共有による各学校の取組の充実 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>○ コミュニティ・スクールを核とした学校・家庭・地域が連携した学校保健・食育の推進</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校保健委員会や地域学校保健委員会の開催及び積極的な情報発信による学校・家庭・地域が連携した取組の推進 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会における健康課題や食に関する課題の共有及び熟議の開催 ・ 「食に関する指導の手引 ～学校・家庭・地域で取り組む食育の推進～」^①の活用 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>■ 現代的な健康課題の解決に向けた学校保健の充実</p>		
<p>○ I C T活用等による学校保健委員会の活性化、学校医・学校歯科医・学校薬剤師及び医療機関等との連携体制の一層の充実</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県医師会・県歯科医師会・県薬剤師会、学校保健会等と連携した研究大会や委員会の開催等による学校保健の推進 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	P149
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校保健計画の作成や学校保健委員会への参画による学校医・学校歯科医・学校薬剤師等との連携体制の充実 ・ I C T環境を生かした児童生徒・地域人材の参画など、学校保健委員会の活性化 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>○ アレルギー疾患対応に係る取組の充実</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校におけるアレルギー疾患対応委員会」での検討結果を踏まえた学校における組織体制の改善 ・ 「緊急時対応事案」や「ヒヤリハット事例」の情報共有及びエピソード[®]の使用方法を盛り込んだ校内研修の推進 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	P149

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

<p>○ 専門家や関係機関と連携した学校歯科保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校歯科保健推進検討委員会」による指導内容の検討及び効果的な指導方法の周知 県健康福祉部、県歯科医師会等が連携して実施する「健口スマイル運動」に関する学校における取組の普及啓発 	<p>県教委 市町教委</p>	<p>P149</p>
<p>○ 学校医や学校薬剤師、関係機関と連携したがん教育や薬物乱用防止教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 「山口県がん教育推進協議会」におけるがん教育の取組方針及び効果的な方策の検討 外部講師や文部科学省教材⑥を活用したがん教育の推進 学校薬剤師、警察職員、認定講師等と連携した、各学校における年1回の薬物乱用防止教室の実施 学校薬剤師等と連携した学校環境衛生活動の充実（学校環境衛生基準に基づく学校環境衛生検査の確実な実施等） 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	<p>P149</p>
<p>○ 学校薬剤師、警察職員、認定講師等と連携した、各学校における年1回の薬物乱用防止教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校薬剤師等と連携した学校環境衛生活動の充実（学校環境衛生基準に基づく学校環境衛生検査の確実な実施等） 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>■ 「生きた教材」である学校給食の充実</p>		
<p>○ 食に関する指導における「生きた教材」としての学校給食の活用に向けた献立の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 食に関する指導の全体計画を反映させた献立計画に基づく献立作成の推進 県農林水産部等関係機関との連携による地場産食材活用の促進 地域の生産者との連携による地場産食材を活用した給食献立の工夫と食に関する指導による地域の食文化や産業、環境への理解促進 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>○ 衛生管理・危機管理の徹底による安全・安心な学校給食の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した衛生管理・危機管理に関する研修会の開催等による学校の安全管理体制の充実 給食施設の衛生管理状況等の調査及び改善指導による安全管理の徹底 	<p>県教委 市町教委</p>	
<p>○ 食物アレルギー事故防止に向けた全教職員の共通理解による組織的な取組の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル」②の活用（対応方針の見直し、校内研修など） 関係機関と連携し方針に基づいた組織的な対応の徹底 児童生徒の正確な実態把握と個別の支援プラン作成の推進 	<p>学校 (小・中・高・特)</p>	<p>P149</p>
<p>新 学校給食費の抜本的な負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校段階（公立）において、保護者負担となっている学校給食費（食材費）の負担軽減を通じた子育て支援や、栄養水準の確保や地産地消の推進など「給食の質の向上」に向けた取組の推進 	<p>県教委 市町教委</p>	<p>P132 P149</p>
<p>○ 物価上昇に伴う県立学校給食費高騰分の差額支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 食材料費が上昇する中でも、栄養バランスや量を保った学校給食が実施されるよう、学校給食費高騰分の一部の補助 	<p>県教委</p>	<p>P132 P149</p>
<p>■ 養護教諭及び栄養教諭等の更なる資質能力の向上</p>		
<p>○ 学校保健及び食育・給食管理に関する研修会等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 養護教諭・栄養教諭等の専門的知識と技能の習得を目的とした各種研修会の開催 県立学校や各市町における食に関する指導研修会の開催 	<p>県教委 市町教委</p>	<p>P149</p>
<p>○ 健康教育指導者養成研修及び食育指導者養成研修への派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健体育関係長期研修及び健康教育指導者養成研修、食育指導者養成研修への派遣及び研修成果の活用 	<p>県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)</p>	
<p>○ 養護教諭指導員制度による養護教諭の資質能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 養護教諭指導員^{※1}の指導力の向上を図る研修の実施 	<p>県教委 市町教委</p>	
<p>○ 栄養教諭の計画的な配置の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭の計画的な配置による食育の充実 	<p>県教委 市町教委</p>	

※1 養護教諭指導員：養護教諭の資質能力向上のため、職務に関する質疑や研修に対して指導・助言を行う経験豊かで指導力のある養護教諭

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

取組の進捗

p-d-Check-a

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
肥満傾向児の出現率	小5男子 11.42% 小5女子 8.09% (2021(令和3)年度)	小5男子 16.39% 小5女子 10.50% (2024(令和6)年度)	小5男子 9.0% 小5女子 6.0%
12歳でむし歯(う歯)のない人の割合	70.1% (2021(令和3)年度)	70.8% (2024(令和6)年度)	80.0%
朝食を毎日食べる児童生徒の割合 (公立小・中学校)	小6 94.4% 中3 92.6% (2023(令和5)年度)	小6 93.8% 中3 92.7% (2025(令和7)年度)	100%
学校給食における地場産食材を使用する割合	69.1% (2022(令和4)年度)	64.6% (2024(令和6)年度)	72.0%

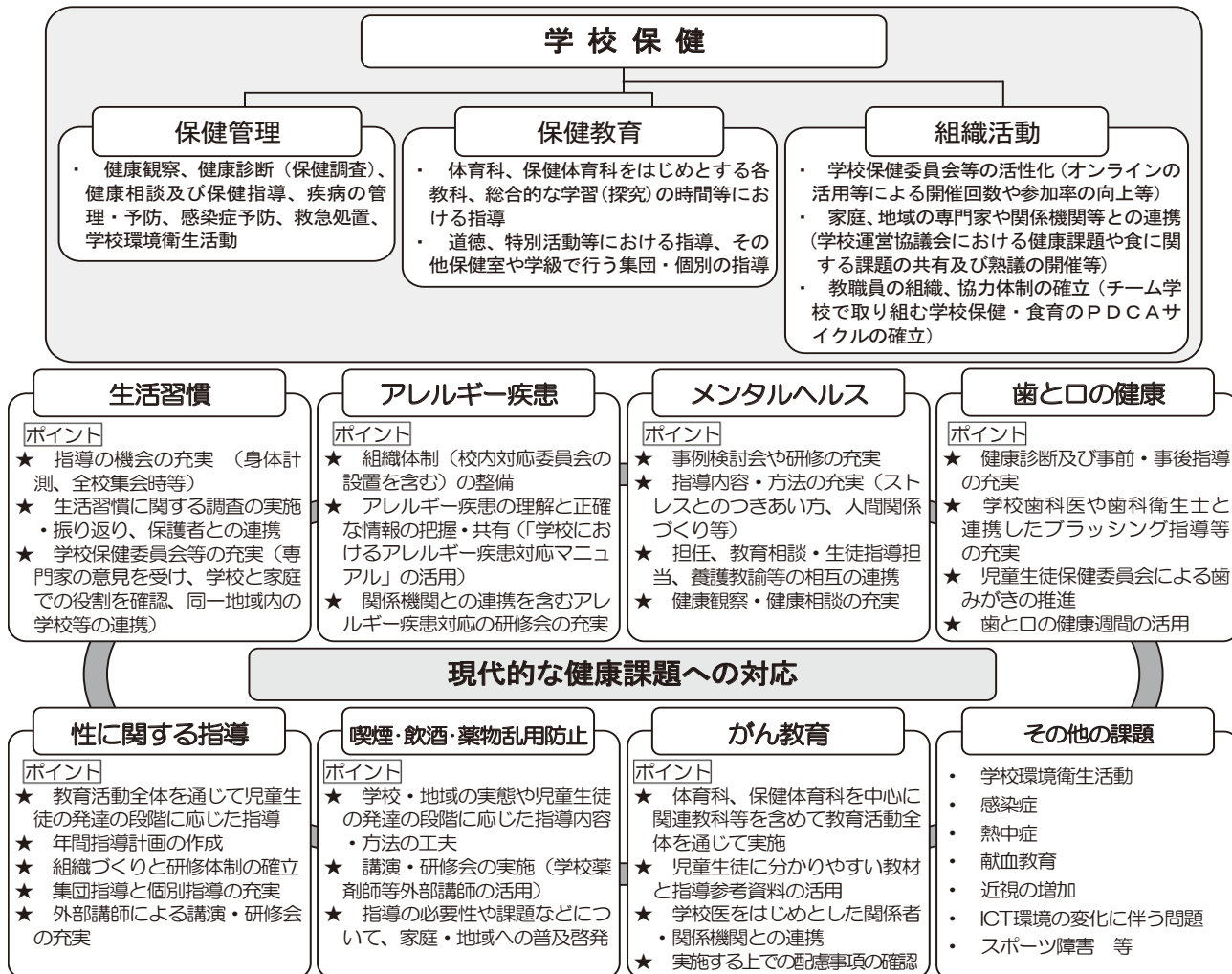
参考

組織的・計画的な学校保健・食育の推進

(担当：学校安全・体育課)

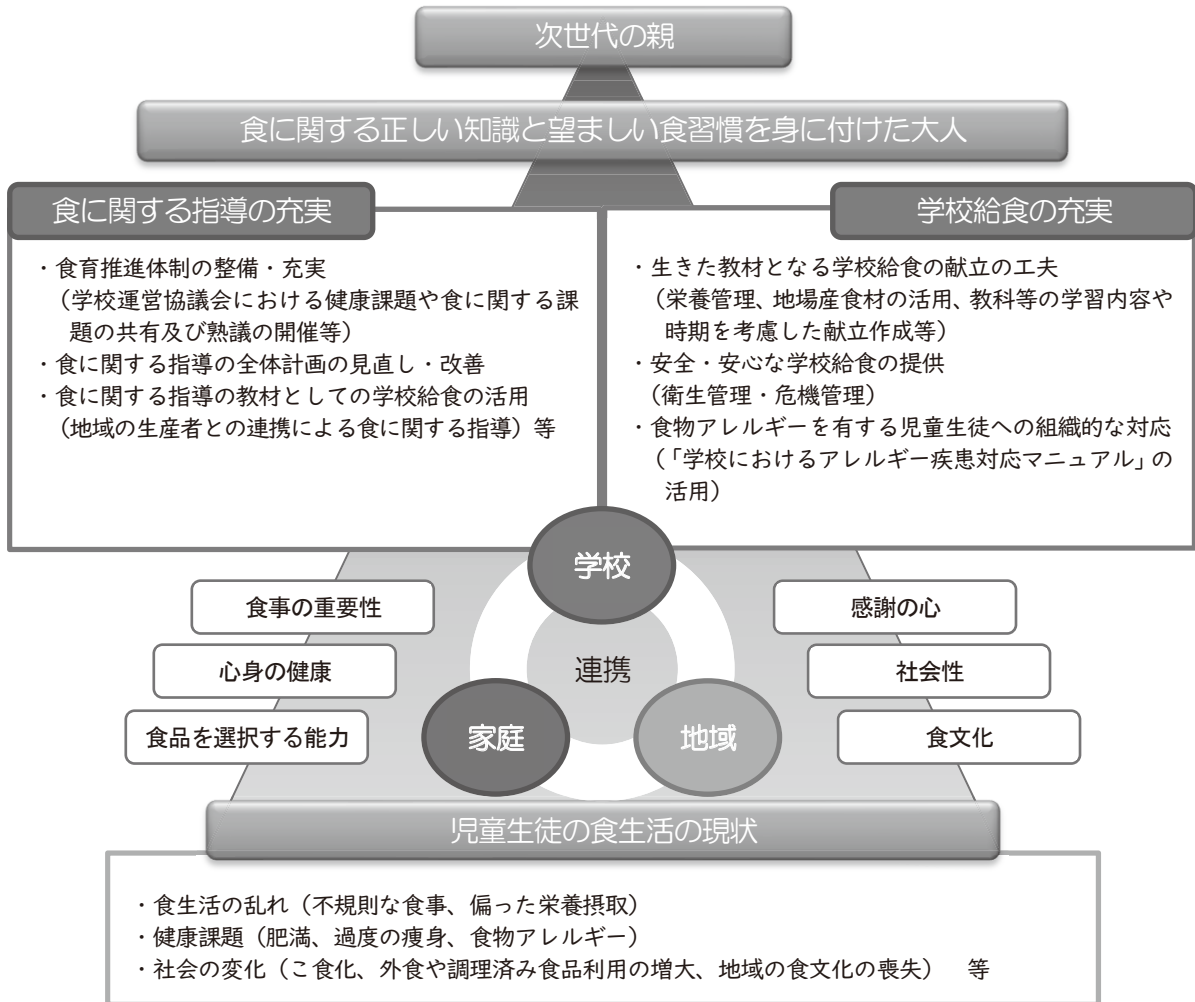
学校保健の推進

子どもたちが生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することをめざし、学習指導要領に基づき、体育科・保健体育科や特別活動をはじめ、学校教育活動全体を通じた体系的な保健教育を充実するとともに、複雑化・多様化する子どもたちの現代的な健康課題に対応するため、健康相談及び保健指導、保健管理、保健組織活動等の取組を推進するなど、学校保健の充実を図ります。



食育の推進

子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学習指導要領に基づき、学校教育活動全体を通じて食に関する指導を組織的・計画的に推進します。その際、小・中学校等においては、「生きた教材」である学校給食を活用した実践的な指導を行うなど、栄養教諭を中核とした学校・家庭・地域の連携による食育の充実を図ります。



<国参考資料>

文部科学省「学校保健、学校給食、食育」
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/index.htm



③文部科学省「がん教育」教材・参考資料等
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1370005.htm



<県参考資料>

学校安全・体育課「こども元気づくり関連サイトマップ」
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26670.html>



- ① 食に関する指導の手引 ～学校・家庭・地域で取り組む食育の推進～
- ② 学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル 等

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

⑥ 乳幼児期における教育及び保育の充実

【2026（令和8）年度の実施方針】

- ◆ 「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター^①」を拠点として、国公立・施設類型を問わず、保育者の専門性の向上等の取組を一体的に推進します。
- ◆ 生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である乳幼児期の教育及び保育の更なる質の向上のため、教育及び保育の内容や指導方法等に関する研修、幼児教育アドバイザー等による幼児教育・保育施設の訪問支援等を実施します。
- ◆ 子どもたちの育ちや学びをつなぐための、小学校区を単位とした保幼小連携（幼児教育・保育施設と小学校の連携）を促進します。

【主な取組】 (担当課：乳幼児の育ちと学び支援センター／義務教育課)

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ 乳幼児期の教育及び保育の質の向上		
○ 全ての保育者^{※1}を対象とした研修の実施^② ・ 現場のニーズや県における課題等に対応した研修内容の充実 ・ オンライン開催や研修動画配信等による受講機会の拡充	県教委	P136
○ 幼稚園教諭一種免許状認定講習の開設 ・ 幼稚園教諭二種免許状を保有する教員を対象とした幼稚園教諭一種免許状認定講習開設	県教委	P136
○ アドバイザー等による幼児教育・保育施設^{※2}の訪問支援^③ ・ 幼児教育アドバイザー、スクールソーシャルワーカー等の配置及び幼児教育・保育施設からの要請に応じた訪問等の実施	県教委	P136
■ 幼児期の教育と小学校教育の接続の促進		
○ 小学校区を単位とした保幼小連携の推進 ・ 小学校区の中で、合同保育・授業等による子ども同士の交流活動や保育者と小学校教員の合同研修会等の計画的、継続的な実施	県・市町 県教委 市町教委	P136
○ 大学、関係機関等との連携による架け橋期^{※3}における教育の内容の充実		
・ 幼児教育・保育施設と小学校での架け橋期における教育及び保育内容の充実と「架け橋期のカリキュラム」の開発、実践、検証、改善	県・市町 県教委 市町教委	P136
・ 派遣地域との連携による「保幼小連携研修会」の開催 ・ 保幼小連携に係る冊子「はじめのいっぽ もういっぽ」 ^④ の活用促進	県教委	P136
○ 幼児教育・保育長期研修の実施^⑤ ・ 保幼小連携の推進役を育成するため、小学校教員を保育所・幼稚園・認定こども園に1年間派遣 ・ 市町教育委員会及び市町幼児教育・保育主管課との連携による派遣教員の研修成果の還元及び架け橋期のプロモーターとしての活用 ・ 派遣地域への架け橋期のコーディネーターの派遣	県・市町 県教委 市町教委	P136

※1 保育者：保育士、幼稚園教諭、保育教諭等 ※2 幼児教育・保育施設：保育所、幼稚園、認定こども園等
 ※3 架け橋期：5歳児から小学校1年生までの2年間のこと。生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるための重要な時期として「架け橋期」と呼んでいる。

取組の進捗

p-d-Check-a

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
県主催の保育者対象の研修会等において研修の目標が十分に達成できた参加者の割合	71.3% (2022(令和4)年度)	62.7% (2025(令和7)年度)	100%
スタートカリキュラム ^{※4} の改善に向けて幼児教育施設との意見交換や合同の研究の機会などを設けている公立小学校の割合	78.8% (2022(令和4)年度)	97.3% (2025(令和7)年度)	100%

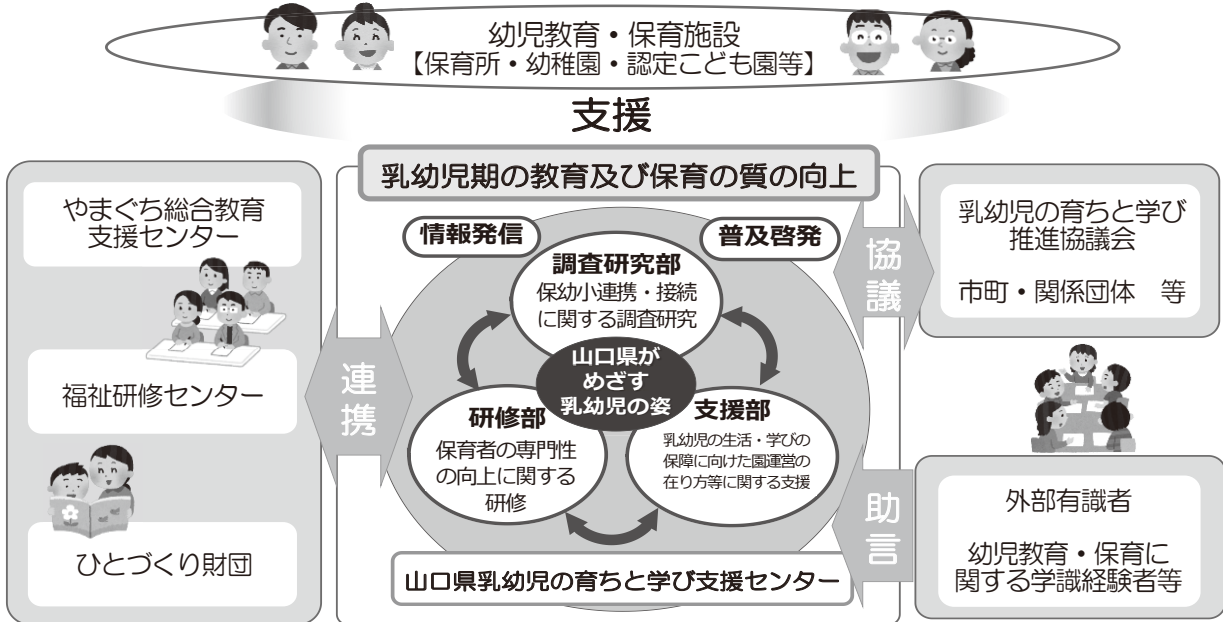
※4 スタートカリキュラム：小学校に入学した子どもが、保育所・幼稚園・認定こども園などの遊びや生活を通して育ちと学びを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム（合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定に配慮）

参考

①「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」の機能 (担当：乳幼児の育ちと学び支援センター)

「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」

乳幼児期の教育及び保育の内容・指導方法等に関する保育者への研修や調査研究、幼児教育・保育施設に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施する拠点



②全ての保育者を対象とした研修の実施

- 現場のニーズや今日的課題等に対応した保育者への研修を一元的に実施
- 乳幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて小学校教育が円滑に行われるよう、保幼小連携に係る小学校との合同研修会の開催 等



研修一覧

③アドバイザー等による幼児教育・保育施設の訪問支援

- 乳幼児期における教育及び保育、特別支援教育等に関する専門的知見や豊富な実践経験を有する幼児教育アドバイザー、スクールソーシャルワーカーを配置（この他にも「ICT活用」「障害のある子どもと家族支援」等の専門分野に係る幼児教育アドバイザーの派遣が可能）
- 「園内研修の手引き」を活用した園内研修の充実、幼児教育・保育施設の課題解決等に向けた助言

アドバイザー等訪問書類



④冊子「はじめのいっぽ もういっぽ」の活用促進

- 保幼小連携に関する市町主催の研修会や、園小合同研修会等の際に、冊子・動画を活用
- 冊子の活用促進・成果検証のため好事例を広く周知 等

保幼小連携に係る冊子

「はじめのいっぽ もういっぽ」



⑤幼児教育・保育長期研修の実施

- 平成16年度から実施し、令和7年度までに84人の教員を派遣
- 架け橋期のプロモーターとして位置付け研修後の成果還元（小学校低学年における指導や教育課程の工夫改善）

各地域での保幼小連携の推進役

<県参考資料>

乳幼児の育ちと学び支援センターWebページ
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/>



1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

⑦ キャリア教育・進路指導の充実

【2026（令和8）年度取組方針】

- ◆ 幼児教育から高等学校等までの各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進し、自己の進路選択に主体的に取り組む態度と能力の育成を図ります。
- ◆ 学校と家庭、地域、産業界等との連携を強化し、体験活動をはじめとする教育活動の一層の充実を図るとともに、地域産業への理解を深め、主体的に地域づくりに貢献する「ふるさと山口の創り手」となる人材の育成を図ります。
- ◆ 各学校の特色や児童生徒の実態に応じた一人ひとりの進路実現に向けた取組の一層の充実を図ります。
- ◆ 就職を希望する全ての生徒の進路実現並びに主体的な県内就職の促進に向け、知事部局や関係機関と連携し、組織的な就職支援体制の強化や県内企業への理解を深める取組及び実践的・体験的な学習活動を推進します。
- ◆ ふるさと山口の未来を創る心意気を「やまぐちPRIDE※¹」という合言葉で表し、その下で、学校と地域産業等との連携・協働体制を構築し、地域との関わりの中で、自己の在り方や生き方を考えさせる教育を推進します。

【主な取組】 （担当課：高校教育課／義務教育課／特別支援教育推進室／地域連携教育推進課）

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ 各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育の推進		
○ 校種間の連携の強化や継続的な進路指導の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校種間の連絡協議会等を活用した取組の促進 新 キャリア教育推進連絡協議会の開催 新 「やまぐちPRIDE」醸成に係る専門家による講義や推進校の事例発表等の研修会の開催 	県教委 市町教委	P117 P149
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「キャリア教育実践事例集」、「キャリア教育年間指導計画作成資料」を活用した取組の充実 ・ 「キャリア・パスポート」の効果的な活用① 	学校 (小・中) 学校 (小・中・高・特)	P117 P149
○ 中学校における計画的・組織的な進路指導の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県市町キャリア教育連携・推進会議における情報共有と情報発信 	県教委 市町教委	P117 P149
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学後早期からのキャリア教育の視点に立った計画的な進路指導の充実 ・ キャリア・カウンセリングによる子どもたちの状況に応じたきめ細かな支援の充実 	学校 (中)	P149
○ 高等学校等における組織的・系統的・計画的な進路指導の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の特色や生徒の実態に応じた進路指導計画（進路シラバス）の工夫・改善 ・ スクール・ポリシー※²に基づく進路指導の工夫・改善 ・ 教育ダッシュボード※³を活用した進路指導の充実 	学校 (高)	P149
新 「やまぐちPRIDE」の醸成に向けた“あこがれの連鎖”を創出する教育活動の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐちPRIDE」推進校を中心として、学校と地域産業等が一体的に連携・協働（小・中） 	県教委 市町教委	P117 P149
<ul style="list-style-type: none"> ・ 異校種間交流や地域産業等と連携・協働した教育活動の実施 	学校 (小・中・高・特)	P117 P149
■ 職場体験、インターンシップ等の体験活動の充実		
○ ICT機器等を活用した体験活動の機会の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科高校における「地域探究型インターンシップ」等の実施 	県教委	

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

<ul style="list-style-type: none"> ミラナビ（山口県バーチャル企業見学体験）や高校生向け企業紹介動画の積極的な活用 地域の企業や教育機関等を訪問する体験活動の実施 	学校 (高) 学校 (小・中・高・特)	
○ 各学校と家庭・地域・産業界等との連携強化		
<ul style="list-style-type: none"> 新 学ぶことや働くことの意義を理解し、自己の在り方や生き方を考える体験的な学習の機会の充実 新 「やまぐちPRIDE」推進校による広域的な職場体験活動への支援（小・中） 	県教委 市町教委	P117 P149
<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの連携・協働体制を活用した職場体験、インターンシップ等の実施 「やまぐち教育応援団」の活用（登録事業所等団員数：R8.1月現在4,892人） 新 「やまぐちPRIDE」応援団ポータルサイトの活用 	学校 (小・中・高・特)	P117 P149
■ 進路実現に向けた取組の支援の充実		
○ 中学校における進路指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> キャリア・ガイドブック「夢サポート」の活用 高校教員等を講師とした「進路説明会」の実施 高校生を講師とした「卒業生に学ぶ会」の実施 	学校 (中)	
○ 高等学校等における県内大学等と連携した学習活動の推進		
<ul style="list-style-type: none"> 「やまぐち高大パートナーシップ強化事業」による県内大学等と連携した学習活動の推進② 	県教委	P149 P151
<ul style="list-style-type: none"> 県内大学等と連携したキャリア教育の実施② 	学校 (高)	
○ 志の高い高校生等の学習意欲の向上を図る取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> 医師を志す高校生が地域医療の課題等について学び合うセミナーの開催② 	県教委	
○ 進学に関する特色ある取組に対する支援の充実		
<ul style="list-style-type: none"> 「学校プランサポート」等による各学校の特色ある取組に対する支援 	県教委	P149
<ul style="list-style-type: none"> 他校と連携した学習合宿等、進路意識の醸成や学習意欲の向上を図る取組の実施 	学校 (高)	
○ 総合支援学校におけるキャリア教育・進路指導の充実③		
<ul style="list-style-type: none"> 「特別支援学校職業自立・進路指導推進協議会」の開催 拓 「きらめき検定」（山口県特別支援学校技能検定）の充実 	県教委	P139
<ul style="list-style-type: none"> 個別の教育支援計画や個別の指導計画、キャリア発達段階表等の活用 	学校 (特)	
■ 就職支援の充実		
○ 生徒一人ひとりの希望を踏まえた組織的できめ細かな就職支援		
<ul style="list-style-type: none"> 「高校と地元企業による交流フェア④」の企画・渉外等を行う産学連携コーディネーターの配置 高校1年時から生徒の希望・適性に沿った就職に向けた伴走型支援を行う人材等の配置④ 教員や就職を希望する生徒等と企業の採用担当者が面談をする場の創出 	県教委 市町教委	P120 P149
<ul style="list-style-type: none"> 地元優良中小企業を学校に招聘した企業説明会の実施（高・特） キャリアデザインから就職に向けた個別相談・マッチングまでの総合的な支援（高・特） 教員と企業の採用担当者との情報交換の実施 生徒・保護者と企業の採用担当者との面談の実施 	学校 (中・高・特)	

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

○ 就職に向けた意識の醸成と県内産業等への理解促進		
<ul style="list-style-type: none"> 県内企業の優れた技術や魅力の理解を図る体験型セミナーの開催^④ 就職に向けた意識を醸成し、社会・職業への円滑な移行を図るセミナーの開催 	県教委	P120 P149
<ul style="list-style-type: none"> 「ものづくり産業魅力体験セミナー」^④等への参加 山口しごとセンターやハローワーク等と連携したガイダンスの実施 	学校 (高・特)	P120 P149
○ 職業人に求められる資質能力の育成		
<ul style="list-style-type: none"> DXや働き方改革に先進的に取り組んでいる企業への訪問の推進^④ 産業界のDXの進展に伴い必要となる知識・技術の習得の支援^④ 	県教委	P120 P149
<ul style="list-style-type: none"> 産業現場や施設の見学、企業で働いている方との意見交換会の実施 学科の専門性に応じた技術講習会や実習の実施 	学校 (高・特)	P120 P149

- ※1 やまぐちPRIDE：ふるさと山口を大切にする気持ちをもって、主体的に地域づくりに参画しようとする心意気、つまりふるさと山口の未来を創る心意気を表す言葉
- ※2 スクール・ポリシー：各高等学校等における教育活動の指針となる3つの方針（「グラデュエーション・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」）
- ※3 教育ダッシュボード：児童生徒の教育データをグラフや表等で可視化し、児童生徒やクラスの状態をよりの確に把握できるようにするための画面や機能

取組の進捗

p-d-Checka

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
中学校・高校卒業者のうち進路決定者の割合	中 99.0% 高 97.2% (2021(令和3)年度)	中 99.1% 高 97.5% (2024(令和6)年度)	中 99.5% 高 99.0%
将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合（公立小・中学校）	小 83.9% 中 66.1% (2023(令和5)年度)	小 85.1% 中 67.9% (2025(令和7)年度)	小 88.0% 中 75.0%
地域と連携して「1/2成人式」や「立志式」を行っている公立小・中学校の割合	小 26.7% 中 37.9% (2022(令和4)年度)	小 94.8% 中 96.5% (2024(令和6)年度)	100%
高校生等の就職決定率	99.7% (2022(令和4)年度)	99.6% (2024(令和6)年度)	100%
高校生等の県内就職割合	83.0% (2021(令和3)年度)	80.8% (2024(令和6)年度)	90.0%
在学中に体験的なキャリア教育(インターンシップ、大学・企業訪問等)を経験した高校生等の割合	高 97.9% (2022(令和4)年度)	高 99.1% (2024(令和6)年度)	高 100%

参考

○ **キャリア教育推進の視点**

- 発達の段階に応じて**
小学校段階から教育活動全体を通じての系統的取組の積み上げ
- 体験活動を重視して**
職場体験、インターンシップ等の体験活動の充実
- 連携・協力して**
学校と家庭、地域、産業界等との連携・協力体制の強化



本県キャリア教育のねらい

夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力を育成する

○ **小・中・高を通じた体系的・系統的な取組を推進**

＜発達の段階に応じて、夢や目標を考える（夢をデザインする）視点＞

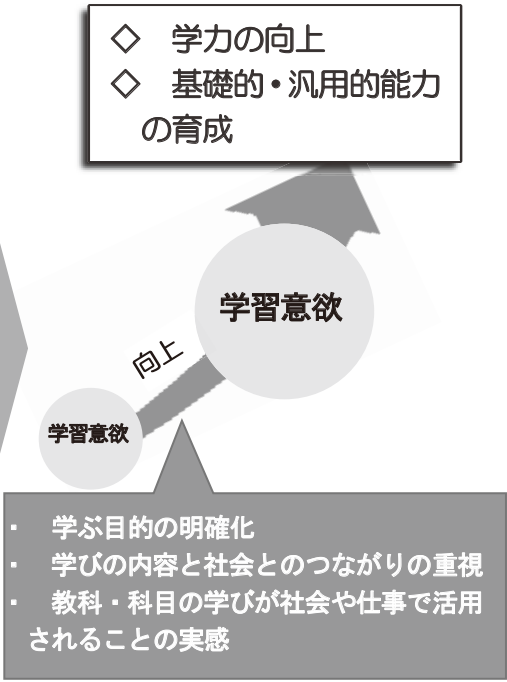
3つの視点	小学校（小学部）			中学校（中学部）			高等学校（高等部）		
	低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
自分がしたいこと	 様々な体験等を通じて自分がしたいことを見つけ、将来の夢や目標につなげる								
自分ができること	 夢や目標の実現に向けて継続的に努力し、自分ができるところを増やし自分のよさを伸ばす								
社会が求めていること	 社会の一員としての自覚を深め、自分の役割を果たそうとする意欲や能力を高める								

○ **学校で学ぶことと社会との接続を意識し、学校教育活動全体を通じてキャリア教育を推進**

「子どもたちに学びと社会や仕事のつながりを伝える」
～学校と家庭・地域、産業界等の連携を通じて～

- ・ 日々の教科等の授業において、学習内容と社会や職業との関連を意識させる工夫
- ・ 教科指導の中でもキャリア教育をしているという教員の認識
- ・ 将来の夢を描くことに加え、「働くこと」の実際や必要な資質・能力の育成につながる指導の工夫
- ・ 体験活動（職場見学、職場体験、インターンシップ等）の事前・事後指導の充実
- ・ 学校と家庭・地域、産業界等の連携強化 など

「学習意欲」にも波及

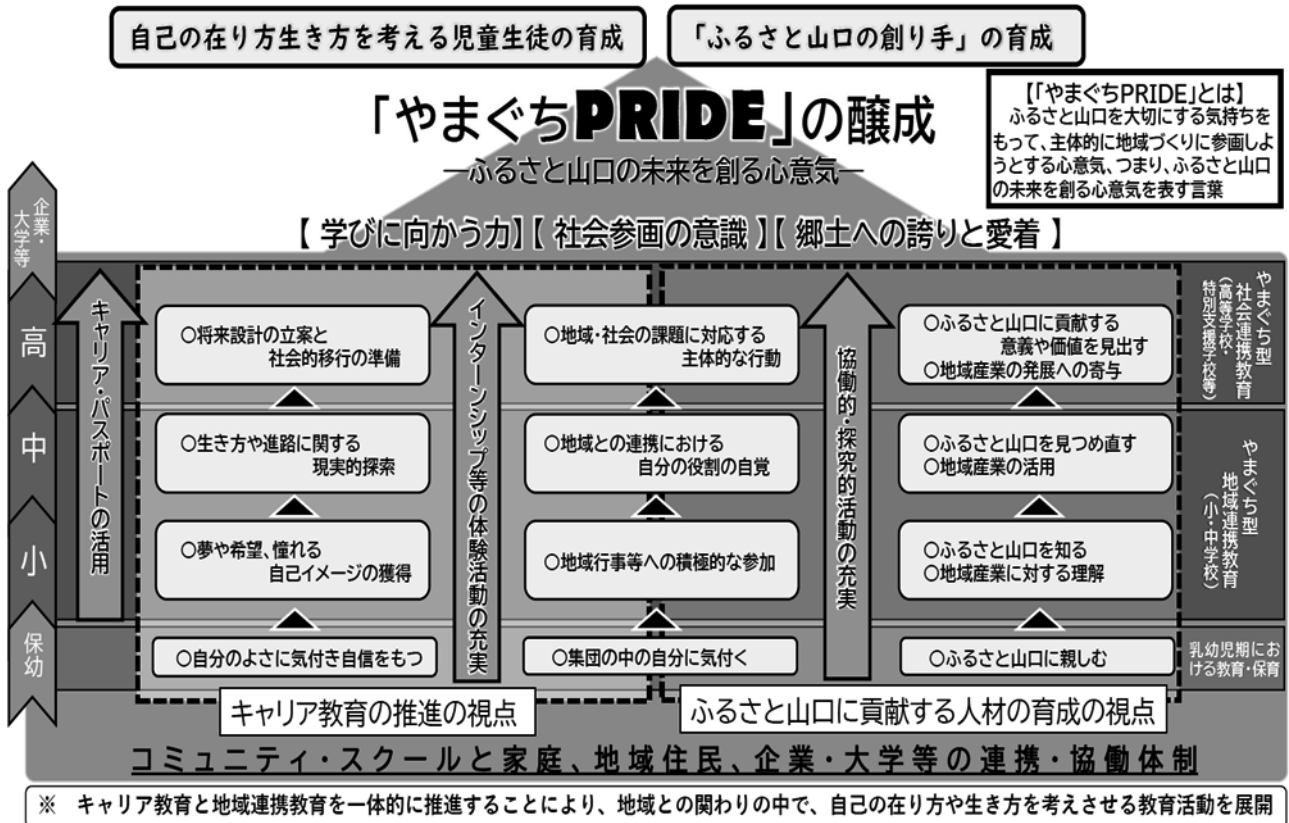


1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

山口県らしいキャリア教育の推進 ～「やまぐちPRIDE」の醸成～

(担当：義務教育課／高校教育課／地域連携教育推進課／特別支援教育推進室)

児童生徒がふるさと山口を大切にできる気持ちをもって、主体的に地域づくりに参画しようとする心意気を「やまぐちPRIDE」という合言葉で表し、その下でキャリア教育と地域連携教育を一体的に推進することにより、地域との関わりの中で、自己の在り方や生き方を考えさせる教育活動を推進します。



< 「やまぐちPRIDE」の醸成に関連する主な令和8年度事業とKPI >

	現状値 (R7)	目標値 (R10)
■あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業（義務教育課） ※肯定的な回答の中でも、「当てはまる」の回答を指標とする。		
全国学力・学習状況調査「自分にはよいところがある」の「当てはまる」の回答割合	小 44.6% 中 39.1%	小 80.0% 中 80.0%
全国学力・学習状況調査「将来の夢や目標をもっている」の「当てはまる」の回答割合	小 63.2% 中 35.6%	小 80.0% 中 80.0%
全国学力・学習状況調査「地域や社会をよくするために何かしたい」の「当てはまる」の回答割合	小 33.4% 中 21.2%	小 80.0% 中 80.0%
■やまぐち創生！「地域の創り手」育成推進事業（地域連携教育推進課）		
山口県学力定着状況確認問題「今住んでいる地域のことが好き」の「当てはまる」の回答割合	小 58.8% 中 43.4%	小 80.0% 中 80.0%
山口県学力定着状況確認問題等「将来、今自分が住んでいる地域のために役に立つことをしたいと思う」の肯定的な回答の割合	小 71.8% 中 62.5% 高 —	小 80.0% 中 80.0% 高 80.0%

<国参考資料>

文部科学省「キャリア教育 先生応援ページ1（手引き・パンフレット等）」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1312372.htm



文部科学省「キャリア教育 先生応援ページ2（研修用動画・資料等）」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1315412.htm



①文部科学省「「キャリア・パスポート」に関すること」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1312382_00004.htm



<県参考資料>

義務教育課・高校教育課「山口県キャリア教育の推進」
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/78930.pdf>



①義務教育課「キャリア教育の推進・キャリア・パスポート」
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26821.html>



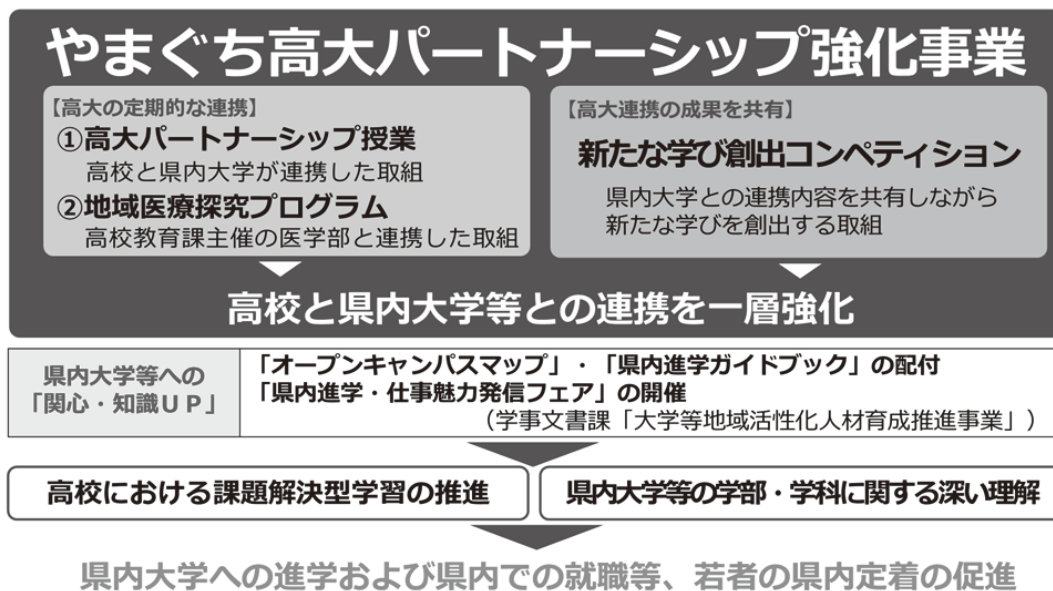
1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

②県内大学等への進学促進に向けた高大連携の推進

～やまぐち高大パートナーシップ強化事業～
～大学等地域活性化人材育成推進事業～

(担当：高校教育課)
(担当：総務部学事文書課)

高校と県内大学との連携を一層強めることにより、主体的な進路選択による県内大学への進学意識の向上を図り、若者の県内定着を促進します。



③総合支援学校における進路指導の推進

～キャリア発達段階表等の活用によるきめ細かな支援～ (担当:特別支援教育推進室)

総合支援学校で、子どもたちの自立と社会参加につながるよう、各学部において育てたい力を整理したキャリア発達段階表等を活用して、きめ細かな進路指導を行います。

キャリア発達段階表と指導内容 (例)

領域	幼稚園部	小学部	中学部	高等部
人間関係形成能力	遊びを中心とした発達全体の促進	人とのかかわり	自己理解・他者理解	
		集団参加	協力・共同	
		意思表示		
		あいさつ・清潔・身だしなみ	場に応じた言動	
情報活用能力		様々な情報への関心	情報収集と活用	
		社会資源の活用とマナー		法や制度の活用
		金銭の扱い	金銭の使い方と管理	消費生活の理解
		はたらくよろこび	役割の理解と働くことの意義	
将来設計能力		習慣形成		
		夢や希望		
	やりがい	生きがい		
		進路計画		
意思決定能力	目標設定			
	自己選択	自己選択(決定・責任)		
		肯定的な自己評価		

自立と社会参加

参考資料：国立特別支援教育総合研修所「知的障害のある児童生徒のキャリアプランニング・マトリックス」

④就職支援の充実～明日のやまぐちを創る！高校生就職支援事業～

(担当：高校教育課／特別支援教育推進室)

新規高校卒業者を取り巻く雇用情勢を踏まえ、「ガイダンスの充実」と「マッチングの促進」に重点をおき、関係部局等と連携しながら、1年時から生徒一人ひとりに寄り添った組織的できめ細かな就職支援を推進し、就職を希望する生徒の進路実現を図る。

「ガイダンスの充実」

■高校生キャリアデザイン支援事業

⇒ 県内産業や山口県の魅力の理解促進、県内就職・県内定住に向けた意識の醸成

◇ ものづくり産業魅力体験セミナー

- ・ 県内企業の技術者等による講義や演習を通して、県内企業の優れた技術や魅力の理解を図る体験型セミナーの実施

◇ やまぐち魅力発見セミナー

- ・ ライフプランニングや社会人として求められる資質等について考えるワークショップの実施
- ・ 県内に就職した卒業生や本県にIターン等した若者が、山口県や県内企業等の魅力について語るセミナー及び座談会の実施

◇ やまぐち仕事探究セミナー

- ・ 社会・職業への円滑な移行を図るため、労働法制等に関するガイダンスの実施
- ・ 高校生を取り巻く雇用環境や地域産業の雇用動向等に関するガイダンス等の実施

「マッチングの促進」

■やまぐち産学マッチング事業

⇒ 生徒の適切な職業選択と県内優良中小企業とのマッチングの促進

◇ 高校と地元企業による交流フェア

- ・ 学校において、高校生と地元優良中小企業で働いている方との交流会の実施
- ・ 交流フェアの企画・渉外を担当する、産学連携コーディネーターの配置（公立学校に2名配置）

◇ 就職支援を担う人材等配置

- 【就職に向けた伴走型支援を行う人材等（公立学校に22名、私立学校に4名配置）】
- ・ 1年時から個別相談等を行い、生徒の希望・適性に沿った伴走型支援の実施
 - ・ キャリアデザインから就職に向けた個別相談・マッチングまでを総合的に支援

- ・ 求人情報等を集約し、県内全域で共有

【総合支援学校就職支援コーディネーター（公立学校に4名配置）】

- ・ 総合支援学校に在籍する生徒の現場実習先の開拓、就職支援
- ・ 障害者雇用に関する理解促進

◇ ふるさと山口企業合同就職フェア

- ・ 高校生、保護者と企業の採用担当者との面談

◇ 県内就職促進協議会

- ・ 教員等と企業の採用担当者との情報交換

◇ 県内企業訪問（応募前職場見学等）

- ・ 応募前職場見学、教員等による企業訪問・職場定着に向けた支援

■やまぐちリーディングカンパニー連携事業

⇒ DXを推進している企業や各産業分野で主導的な地位にある企業と連携した企業見学・実習を推進

◇ やまぐちリーディングカンパニー訪問事業

- ・ DXに関する取組や働き方改革を推進している企業への訪問、企業で働いている方との意見交換等を実施

◇ デジタルスキル習得支援事業

- ・ 産業界のDXの進展に伴い必要となる知識・技術の習得を支援
- ・ 企業や学校の施設・設備を活用した実習を実施

◇ ICTを活用した就職支援：県内企業情報の提供、労働法制等について学ぶ動画の配信等

【関係部局等との連携】 産業労働部・山口労働局・市町・商工会議所 他

就職を希望する生徒の進路実現
(生徒の主体的な県内就職・県内定住の促進)